

野菜ともだち通信

No.1002

2025/8/14 (木) あらき農園 Tel080-1366-8984



手蒔きで

鎌ケ谷の若いママさんたち(大人4名お子さん5名)が人参の種蒔きに来てくれました。5cm 間隔に種を置いて土を薄くかけて手でやさしくおさえました。次は種蒔き機で蒔いてもらいました。初めての種まきなのにうまくできました！1週間先の人参の芽生えが楽しみです。



種まき機で

お届けの野菜 ピーマン・パプリカ・モロヘイヤ・枝豆（ゆあがり娘）・その他
まくわうり（さっぱりしたメロン味です。）

簡単レシピ ♡ピーマンだけで絶品おつまみ

＜材料＞ ピーマン3個 バター10g 醤油小さじ1 鶏がらスープの素(無くても可)小さじ1 塩・胡椒
＜作り方＞1 ピーマンは種とヘタを取り、縦に5mm位に千切りにする。2 フライパンに中火でバターを溶かし、ピーマン、鶏がらスープの素を入れ炒める。3 ピーマンがしんなりして来たら、強火にして醤油を鍋肌からまわし入れフライパンをあおりながら焦がし醤油を手早く全体に絡める。4 さらに盛り付けて、塩、コショウで調整して完成。（クックパッドより）

主な畑作業

7月28日、お世話になったトマトを抜きました。最期に色づいたトマトは少しでした。収穫すると、トマトの木は茎葉だけになりました。トマトは35℃以上になると花粉が正常に作れないので受粉できないそうです。色づいたトマトは35℃になる以前のトマトだったわけですね。6月中旬から収穫させてもらったトマトに感謝してお別れしました。

原爆写真展と平和のつどいのご報告

7月21日(松戸)五香六実六高台原爆写真展&平和のつどいには大人100名子ども20名の参加がありました。メインの児玉三智子さん(日本原爆被害者団体協議会事務局次長)の講演の紹介をさせていただきます。昨年ノーベル平和賞を受賞しましたが1985年にノミネートされながら受賞できないでいたのもう諦めていたところへの受賞でした。ノーベル委員会の委員長が「被爆者達の遺産を受け継いで行くのは私達人間の全ての責任」と被爆者達の長い厳しい道のりを讃えてくれました。

児玉さんは7歳で被爆。窓ガラスの破片が体に突き刺さりました。建物疎開で引っ越したのでそれで済みましたが、転校前の本川小学校は爆心地から300mだったので400名の命が一瞬にして亡くなりました。…3000℃~5000℃の熱と暴風で何も残らずに。その核兵器は量も威力も大きくなり今は地球が2回滅びる程になっています。やがて児玉さんのお母さん、お父さんが癌で亡くなり、どんな子が生まれても良いから産むと決めた娘さんが45歳で癌で亡くなり、2017年には弟さん、継いで末の弟さんも癌で亡くなりました。

「戦争なんて何も良いことはない。」と被爆者になって80年の児玉さんから出てくる言葉は重かったです。お話を伺った後は、8/6になるとあの原爆の雲の下に児玉さんがいたんだ、助かって良かった。でも助からなかった14万の命がある。核も戦争もない世界になってほしい。



講演後の児玉さん

8/28 (木) ねぎ・にんにく・ピーマン等

野菜の傷みや苦手な野菜なので別の野菜にとのご要望がありましたらご連絡ください。